



吉子川



令和7年4月14日(月)
学校だよりNO. 4
中島村立吉子川小学校
発行責任者 校長 木戸美智子

【めざす児童像】

○あかるく たくましい子ども (体)
○やさしく おもいやりのある子ども (徳)
○めあてをもって がんばる子ども (知)

【よしコッピ】

吉子川小学校
のあやめの花に
住む小鳥の妖精

今月のいきいき中島っ子 学びの
十か条 (4月)

きまり、ルールは守って当たり前
落ち着いた環境で高まる集中力

◇ 今年度の新入生を紹介します ～ ピカピカの17名です～ ◇



◇ 負ける練習の大切さ ～ 雨の日の登校も? ～ ◇

柔道では、まず「受け身」から練習すると言われます。(私は柔道を習っていたわけではありません。弟が習っていました。) 投げられる、倒される練習、つまり負ける練習からするそうです。怪我から身を守ることを第一に習うわけです。子どもの成長についても同じことが言えると思うのです。子どもは、未発達なうちは数々の失敗をしますよね。雨がひどければうまく傘が差せず、ずぶ濡れになることでしょうか。だからといって雨に濡れる経験をさせないことは、子どもたちの貴重な経験、学びの場を奪うことにはならないかとも考えてしまうのです。失敗や間違いを経験しながら、子どもたちは学んでいきます。本人はつらく苦い経験でしょうが、そんな負ける練習から、その都度考え、乗り越え、克服し、上手になっていくものです。見ている方も辛いしハラハラしますね。

でも、ここが自立に向かう子どもになるのか、いつまでも自立できない親の手が要る子どもになるのかの分かれ目だと思うのです。教育は子どもの自立を促すためにあります。子どもの将来にとって、大人が、親がどう関わることが子どもにプラスになるのでしょうか。雨の日の登下校だけではなく、いろんな場面での関わり方を私たちは『子どもの自立のために』を合言葉に考えていきたいと思っています。



◇ 無事、男児出産 ～ 池田直美先生 ◇

現在、産休中の池田直美先生が、4月13日(日) 3,529gの男児を出産されました。母子ともに元気だそうです。おめでとうございます!



